

- |      |     |      |     |
|------|-----|------|-----|
| ①今日  | ( ) | ⑨情報  | ( ) |
| ②発表  | ( ) | ⑩集客  | ( ) |
| ③象徴的 | ( ) | ⑪商業  | ( ) |
| ④城郭  | ( ) | ⑫宿泊  | ( ) |
| ⑤郷土  | ( ) | ⑬業者  | ( ) |
| ⑥資料館 | ( ) | ⑭協調  | ( ) |
| ⑦拠点  | ( ) | ⑮担当者 | ( ) |
| ⑧写真帳 | ( ) | ⑯魅力  | ( ) |
- 

地方自治体は今日、新たな観光振興計画を発表した。今後、象徴的な城郭や郷土資料館を拠点に、写真帳や映像資料を活用した情報発信を強化する予定。若者や家族層の集客を狙い、商業施設や宿泊業者と協調し、地域経済の活性化を目指す方針だ。担当者は「魅力を正確に届けたい」と述べた。

- |      |     |     |     |
|------|-----|-----|-----|
| ①行政  | ( ) | ⑨拡張 | ( ) |
| ②教育  | ( ) | ⑩技術 | ( ) |
| ③市場  | ( ) | ⑪共有 | ( ) |
| ④起業  | ( ) | ⑫環境 | ( ) |
| ⑤研究  | ( ) | ⑬緊急 | ( ) |
| ⑥記者  | ( ) | ⑭許可 | ( ) |
| ⑦消費者 | ( ) | ⑮省庁 | ( ) |
| ⑧需要  | ( ) | ⑯専門 | ( ) |

-----

地方の行政は新年度に向け、教育と市場の連携を軸にした施策を公開した。若手の起業を支えるため、基礎的な研究の成果を活かし方を踏まえ、記者会見で方針を説明。消費者の需要を調査し、設備の拡張や新しい技術の共有を進める。教育環境を重視し、緊急時の許可手続きや省庁間の整理、専門人材の育成を段階的に進める。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① 気象庁 | ( ) | ⑨ 医療  | ( ) |
| ② 影響  | ( ) | ⑩ 高齢者 | ( ) |
| ③ 注意  | ( ) | ⑪ 準備  | ( ) |
| ④ 強風  | ( ) | ⑫ 職員  | ( ) |
| ⑤ 災害級 | ( ) | ⑬ 住民  | ( ) |
| ⑥ 運休  | ( ) | ⑭ 周知  | ( ) |
| ⑦ 状況  | ( ) | ⑮ 避難所 | ( ) |
| ⑧ 救急  | ( ) | ⑯ 重要  | ( ) |
- 

気象庁は、強い寒気の影響について注意喚起を行った。強風や災害級の降雪により交通機関に影響が出ており、一部では運休の状況も確認されている。各地では自治体や救急、医療機関が連携し、高齢者への支援や事前の準備を進めている。自治体職員は住民への周知を徹底し、必要に応じて避難所を開設するなど、重要な対応を続けている。

- |       |     |      |     |
|-------|-----|------|-----|
| ① 医療  | ( ) | ⑨ 協議 | ( ) |
| ② 診療  | ( ) | ⑩ 共有 | ( ) |
| ③ 患者  | ( ) | ⑪ 資料 | ( ) |
| ④ 症状  | ( ) | ⑫ 接種 | ( ) |
| ⑤ 強化  | ( ) | ⑬ 拡充 | ( ) |
| ⑥ 小児科 | ( ) | ⑭ 周知 | ( ) |
| ⑦ 救急車 | ( ) | ⑮ 情報 | ( ) |
| ⑧ 調整  | ( ) | ⑯ 向上 | ( ) |

医療現場では、新たな診療体制の見直しが進められている。患者の症状や年齢層に応じた対応を強化し、小児科や救急車の受け入れ体制を調整し、地域医師会は協議を重ね、共有資料を作成した。今後は訪問診療や在宅支援、予防接種の拡充を図り、関係機関との協力を進めながら、情報の周知と安心感の向上を目指すという。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① 文化庁 | ( ) | ⑨ 若年層 | ( ) |
| ② 紹介  | ( ) | ⑩ 親子客 | ( ) |
| ③ 発表  | ( ) | ⑪ 交流  | ( ) |
| ④ 著名人 | ( ) | ⑫ 魅力  | ( ) |
| ⑤ 資料  | ( ) | ⑬ 主催者 | ( ) |
| ⑥ 来場者 | ( ) | ⑭ 協賛  | ( ) |
| ⑦ 会場  | ( ) | ⑮ 企業  | ( ) |
| ⑧ 教室  | ( ) | ⑯ 協力  | ( ) |
- 

文化庁は、地域文化を紹介する新しい企画展を発表した。  
ふるさとの歴史や著名人を写真集や映像資料で伝え、来場者の理解を深める。会場では学芸員による解説や体験教室も実施。若年層や親子客の参加を促し、交流促進と魅力向上を図る。主催者は協賛企業と協力体制を整え、円滑な運営を目指すという。

- |      |     |       |     |
|------|-----|-------|-----|
| ① 料理 | ( ) | ⑨ 相性  | ( ) |
| ② 研究 | ( ) | ⑩ 検証  | ( ) |
| ③ 調理 | ( ) | ⑪ 試食  | ( ) |
| ④ 食感 | ( ) | ⑫ 会場  | ( ) |
| ⑤ 調整 | ( ) | ⑬ 評価表 | ( ) |
| ⑥ 焼成 | ( ) | ⑭ 共有  | ( ) |
| ⑦ 条件 | ( ) | ⑮ 改良  | ( ) |
| ⑧ 食材 | ( ) | ⑯ 数量  | ( ) |

料理研究の現場では、調理工程の見直しが進んでいる。料理人は食感調整や焼成条件を工夫し、食材相性を検証。試食会場では評価表を用いて味覚共有を行い、改良案を整理した。今後は試作数量を増やし、品質向上と提供効率の両立を目指すという。

- |       |     |      |     |
|-------|-----|------|-----|
| ① 日常  | ( ) | ⑨ 間食 | ( ) |
| ② 食習慣 | ( ) | ⑩ 夕食 | ( ) |
| ③ 朝食  | ( ) | ⑪ 体調 | ( ) |
| ④ 摂取  | ( ) | ⑫ 状況 | ( ) |
| ⑤ 調整  | ( ) | ⑬ 補給 | ( ) |
| ⑥ 咀嚼  | ( ) | ⑭ 食品 | ( ) |
| ⑦ 消化  | ( ) | ⑮ 表示 | ( ) |
| ⑧ 吸収  | ( ) | ⑯ 食後 | ( ) |
- 

日常の食習慣を見直す動きが広がっている。朝食習慣を整え、野菜摂取を意識しながら栄養調整を行うことで、咀嚼回数や消化吸収の質が変わるという。間食抑制や夕食時間の管理に加え、食事記録を続けることが体調管理に役立つ。さらに睡眠状況を確認することや、水分補給と咀嚼習慣の見直し、食品表示や栄養表示を参考にすることも有効。食後血糖の変化を見ながら生活調整を行い、継続習慣につなげたい。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① 教室  | ( ) | ⑨ 少人数 | ( ) |
| ② 筋力  | ( ) | ⑩ 練習  | ( ) |
| ③ 参加者 | ( ) | ⑪ 収縮  | ( ) |
| ④ 筋肉量 | ( ) | ⑫ 休養日 | ( ) |
| ⑤ 日常  | ( ) | ⑬ 記録帳 | ( ) |
| ⑥ 呼吸法 | ( ) | ⑭ 成長  | ( ) |
| ⑦ 休憩  | ( ) | ⑮ 挑戦  | ( ) |
| ⑧ 注意  | ( ) | ⑯ 目標  | ( ) |
- 

地域の運動教室では、無理のない筋力づくりが行われている。参加者は筋肉量や筋力測定の結果を参考にしながら、日常動作や立ち上がり動作を意識した運動に取り組む。指導では呼吸法や休憩時間の取り方、注意事項が丁寧に説明され、少人数指導で進められる。自宅では自宅練習として筋肉収縮を意識した動きを行い、休養日を設けながら記録帳に内容を書き留める。こうした積み重ねが成長実感や挑戦目標につながり、現在の体力状況を見直すきっかけになるという。



- |      |     |       |     |
|------|-----|-------|-----|
| ① 異常 | ( ) | ⑨ 影響  | ( ) |
| ② 気象 | ( ) | ⑩ 週末  | ( ) |
| ③ 急激 | ( ) | ⑪ 積雪量 | ( ) |
| ④ 注意 | ( ) | ⑫ 配慮  | ( ) |
| ⑤ 強風 | ( ) | ⑬ 長期  | ( ) |
| ⑥ 状況 | ( ) | ⑭ 収集  | ( ) |
| ⑦ 情報 | ( ) | ⑮ 調整  | ( ) |
| ⑧ 上空 | ( ) | ⑯ 中止  | ( ) |
- 

各地で異常気象が続き、急激に変化する天候に注意が呼びかけられている。強風注意や豪雨警報が出た地域では、河川の状況や浸水情報の確認が進められた。気象予報によると、上空寒気の影響で週末には積雪量が増える可能性があり、通学路や帰宅時間への配慮が必要だという。専門家は長期予測や最新の情報を収集し、外出予定の調整や中止を検討するよう呼びかけた。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① 給与  | ( ) | ⑨ 条件  | ( ) |
| ② 昇給  | ( ) | ⑩ 調整  | ( ) |
| ③ 初任給 | ( ) | ⑪ 会社  | ( ) |
| ④ 従業員 | ( ) | ⑫ 公表  | ( ) |
| ⑤ 就業  | ( ) | ⑬ 資料  | ( ) |
| ⑥ 残業  | ( ) | ⑭ 要求額 | ( ) |
| ⑦ 賞与  | ( ) | ⑮ 交渉  | ( ) |
| ⑧ 上昇  | ( ) | ⑯ 水準  | ( ) |
- 

最近、給与や昇給への関心が高まっている。新しく働き始める人は初任給を確認し、従業員は就業規則や残業手当、賞与の内容に目を向けることが多い。物価上昇が続く中、労働条件の調整について会社が方針を公表し、その比較資料をもとに要求額を考える動きも見られる。今後は企業側との交渉を通じて、給与水準の見直しが進むとみられている。

- |      |     |      |     |
|------|-----|------|-----|
| ① 芸術 | ( ) | ⑨ 共有 | ( ) |
| ② 写真 | ( ) | ⑩ 周囲 | ( ) |
| ③ 感情 | ( ) | ⑪ 影響 | ( ) |
| ④ 表現 | ( ) | ⑫ 教室 | ( ) |
| ⑤ 学習 | ( ) | ⑬ 音響 | ( ) |
| ⑥ 集中 | ( ) | ⑭ 環境 | ( ) |
| ⑦ 緊張 | ( ) | ⑮ 印象 | ( ) |
| ⑧ 解消 | ( ) | ⑯ 調和 | ( ) |
- 

芸術に触れる時間は、心に良い変化をもたらす。写真や音楽を通して感情が動き、表現の幅が広がると、学習への意欲や集中しやすさにもつながるという。作品に向き合う中で緊張が解消され、感想を共有することで周囲との関係にも良い影響が生まれる。展示会や体験教室では、空間の音響や環境が整えられ、落ち着いた状況の中で深い印象を受ける人も多い。こうした体験は、周囲との調和を考えるきっかけにもなる。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① 百力国 | ( ) | ⑨ 事象  | ( ) |
| ② 旅行  | ( ) | ⑩ 柔軟  | ( ) |
| ③ 多様  | ( ) | ⑪ 周囲  | ( ) |
| ④ 共通点 | ( ) | ⑫ 積極的 | ( ) |
| ⑤ 交流  | ( ) | ⑬ 感情  | ( ) |
| ⑥ 食事  | ( ) | ⑭ 共有  | ( ) |
| ⑦ 表情  | ( ) | ⑮ 学習  | ( ) |
| ⑧ 状況  | ( ) | ⑯ 成長  | ( ) |
- 

これまで百力国以上の国を旅行した人によると、多様な旅行経験を重ねる中で、国や地域を超えた共通点が見えてくるという。異文化交流や土地ならではの食事体験は、相手の表情観察や場の状況判断を自然と促す。予定外の事象にも柔軟対応できるようになり、周囲の人とコミュニケーションをとることに対しても積極的になれる。こうした体験は感情整理を助け、思い出を記憶共有する中で印象に残りやすくなり、結果として学習効果や成長実感を得やすくなるそうだ。

- |      |     |       |     |
|------|-----|-------|-----|
| ① 入浴 | ( ) | ⑨ 読書  | ( ) |
| ② 血流 | ( ) | ⑩ 鑑賞  | ( ) |
| ③ 循環 | ( ) | ⑪ 長時間 | ( ) |
| ④ 緊張 | ( ) | ⑫ 調節  | ( ) |
| ⑤ 照明 | ( ) | ⑬ 補給  | ( ) |
| ⑥ 静寂 | ( ) | ⑭ 飲酒  | ( ) |
| ⑦ 就寝 | ( ) | ⑮ 食後  | ( ) |
| ⑧ 入眠 | ( ) | ⑯ 注意  | ( ) |
- 

入浴には、心身を落ち着かせる効果がある。浴槽に入ると血流が良くなり、循環が整って全身の緊張が和らぐ。照明を落とし、静寂な空間で過ごす、気持ちも落ち着く。就寝数時間前に入浴すると入眠しやすくなることを実感する人も多い。ただし、入浴中の読書や映画鑑賞で長時間入りすぎると体に負担がかかるため、温度調節や水分補給を忘れず行うことが必要。飲酒後や食後の入浴の仕方にも注意すると、健康への効果をより高められる。

- |       |     |      |     |
|-------|-----|------|-----|
| ① 若年層 | ( ) | ⑨ 業種 | ( ) |
| ② 中心  | ( ) | ⑩ 業界 | ( ) |
| ③ 表現  | ( ) | ⑪ 日常 | ( ) |
| ④ 流行  | ( ) | ⑫ 波及 | ( ) |
| ⑤ 省略  | ( ) | ⑬ 情報 | ( ) |
| ⑥ 略語  | ( ) | ⑭ 共有 | ( ) |
| ⑦ 文章  | ( ) | ⑮ 共通 | ( ) |
| ⑧ 辞書  | ( ) | ⑯ 注意 | ( ) |
- 

若年層を中心に新しい表現が次々と生まれている。流行の傾向としては、単語や文を省略した略語が多い。会話だけでなく、メールなどの文章にも使われ、頻繁に使われる単語が新たに辞書に載ることもある。若者の流行だけでなく、特定の業種で使われていた業界用語や省略表現も日常生活に波及し、情報共有がしやすくなる利点がある。しかし、使用の際には、共通の理解があるかどうか、注意が必要な場面もある。

- |       |     |       |     |
|-------|-----|-------|-----|
| ① 高齢者 | ( ) | ⑨ 反射  | ( ) |
| ② 逆走  | ( ) | ⑩ 自主  | ( ) |
| ③ 自動車 | ( ) | ⑪ 実車  | ( ) |
| ④ 認知症 | ( ) | ⑫ 教習所 | ( ) |
| ⑤ 脳卒中 | ( ) | ⑬ 車線  | ( ) |
| ⑥ 病院  | ( ) | ⑭ 車庫  | ( ) |
| ⑦ 評価  | ( ) | ⑮ 能力  | ( ) |
| ⑧ 診断書 | ( ) | ⑯ 現状  | ( ) |
- 

高齢化に伴い、高齢者の逆走やアクセルの踏み間違いによる自動車事故のニュースが増えている。認知症や脳卒中などと診断された場合は、病院での評価や診断書が求められる。しかし、そういったケースでなくても、高齢になると反射神経などが低下することがあり、自主返納を選ぶケースも増えている。運転に不安を感じた場合、実車教習を実施している教習所もある。車線変更や車庫入れなど、総合的に運転能力をチェックし、現状を把握することも大切だ。